

製造現場に AIを導入



インダストリー4.0はもはや、垣間見える未来ではなく現実です。ちょっとしたアドオンやアップグレードはその場しのぎにはなるかもしれません、この状況についていくには不十分です。Accentureの調査によれば、AIによって、2035年には製造業の市場規模が37兆ドル近くプラスになる見込みです¹。

スマート マニュファクチャリングは、モノのインターネット（IoT）データとビジネス データをAIの分析機能と

予測機能にリアルタイムで統合し、品質を損なうことなく生産スピードをアップします。AIシステムも、リアルタイム分析とスマート マシンを通じてより安全で効率的な作業環境を生み出し、一緒に働く人間が、より快適に働けるようにします。

製造現場にAIを導入することは、製造業がより良い方向に進むことでしかありません。



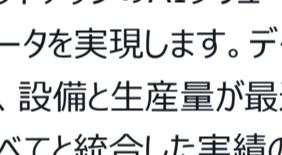
インテリジェントな保守

AIは設備の故障を予測します。これにより、製造停止に見舞われる前に、保守の予定を組んで部品を発注できます。



品質管理

AIは製品の瑕疵など、人間に見えないものを見ることができます。原材料を評価して完成品の品質を判断するなど、未来を予測することもできます。



プロセスと効率性の管理

単純作業はAIに任せましょう。そうすれば、生産性を最大化し、人手への投資を最適化して、作業環境の安全性を高められます。



サプライ チェーン管理

サプライ チェーンにAIを導入すると、在庫やベンダーの状況をリアルタイムで把握できます。原材料の価格もリアルタイムで予測できます。



25%

生産性が
20~25%向上²



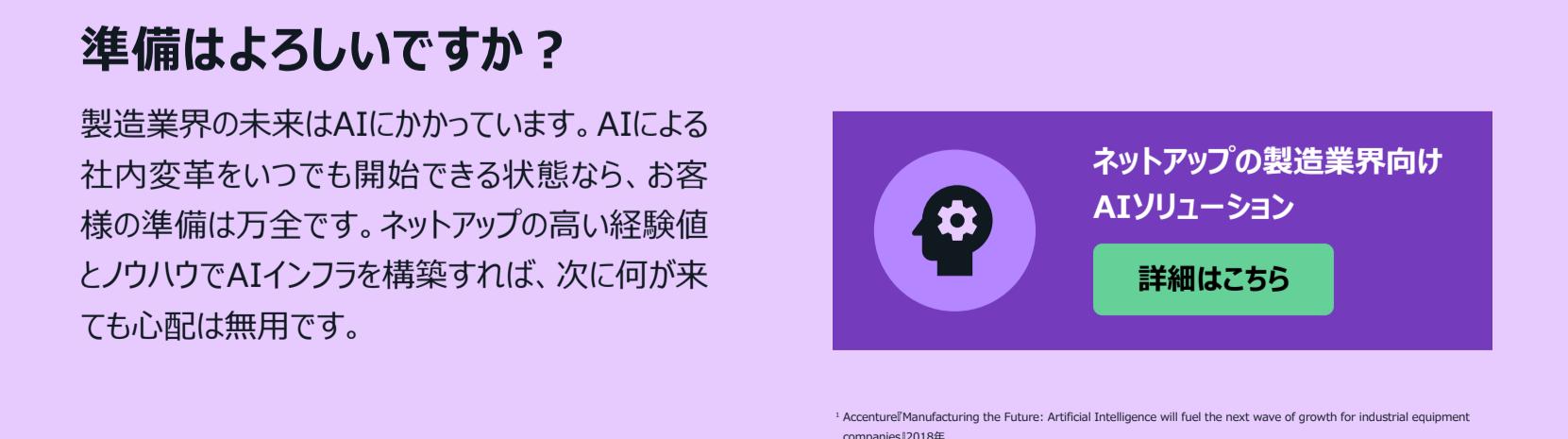
品質に関する問題の影響が
10分の1に³



一貫したスピードと品質で
24時間の生産が可能



売上の減少幅が
75%縮小⁴



準備はよろしいですか？

製造業界の未来はAIにかかっています。AIによる社内変革をいつでも開始できる状態なら、お客様の準備は万全です。ネットアップの高い経験値とノウハウでAIインフラを構築すれば、次に何が来ても心配は無用です。

ネットアップの製造業界向け
AIソリューション

詳細はこちら

